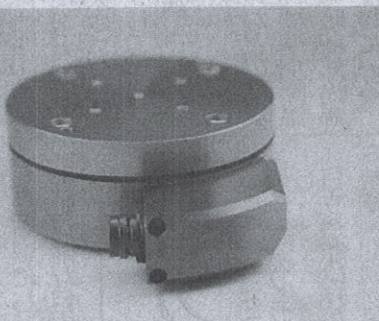


荷重正確に測定

ワコー精密組み立て向け

6軸力センサー

ワコーテック(富山県高岡市、岡田和廣社長、0766・24・8011)は、直線方向にかかる荷重と出力の誤差がプラスマイナス2%以内の静電容量式6軸力センサー「ダイニピック・タイプS」を3月に発売する。同3%の従来品を高精度化し、より高価なひずみゲージ式センサーに匹敵する仕様にした。ロボットによる精密組み立てなどを可能にする。価格は25万円程度。ひずみゲージ式より低コストで高信頼性な点などを訴求し、2017年度に2000台の販売を目指す。



静電容量式6軸力センサー「ダイニピック・タイプS」

ソフトウェアの改良などにより、精度を同社の力センサーとして最高水準まで高めた。直線方向の誤差のほか、他軸への干渉も同3%以内に抑えたため、荷重を正確に測定

・出力できるという。ロボットに取り付け荷重を測定しながら稼働させることで、人が手先の感覚を駆使して行う組み立てなどの自動化が可能。従来品はコネクタの挿入など

繊細な感覚を要する作業に適用しにくかったが、ロボットメーカーなどの要請を受け高精度な製品を開発した。同社が推進する静電容量式は力センサーで主流のひずみゲージ式と比べ構造が単純で、安価かつ高信頼性なのが強み。優位性が評価され複数のロボットメーカーからオプショ

東京大学生産技術研究所
海洋探査システム連携研究
センターのソントン・ブレア
特任准教授と九州工業
大学若手研究者フロンティア
研究アカデミーの西田祐

知検知 観測

サーとレーザーセンサーを
搭載した深海ロボット「B
OSS-A」を開発。南鳥
島沖の拓洋第五海山を調査
した。音響センサーで海底
下の内部構造、レーザー
センサーで表面の詳細な地
形を計った。コバルトリッ
チクラストが厚さ数センチ
程度で分布し

Join
Who
rc
航空機を組み立てる
には多種多様な作業が
確認するなど、全身を
シエクトを走らせ、10
業では手と脚の多点で
できるよ

NEC ネットエスアイ ドローン 特約販売

自律制御システム研と提携

NEC ネットエスアイ(NEASIC)は16日、千葉大学発ベンチャーの自律制御システム研究所(千葉市稲毛区、野波健蔵社長)と特約販売店契約を締結したと発表した。同研究所が開発・製造する「ミニサーベイヤー」の機体

販売から、操縦などのトレーニング、定期点検、消耗品交換や故障時の修理まで総合サービスを提供する。

ドローンで撮影した映像・画像の遠隔地へのリアルタイム配信や画像計測、メガソーラーや橋梁、トンネルなど

が苦手だった組み立てなどの自動化が加速し、ロボットに感覚を与える力センサーの需要が高まっている。

自主制御システム研究所はドローンの頭脳にあたる自律飛行制御ソフトウェアを独自開発している国内唯一のメーカー。用途に応じて柔軟に機体をカスタマイズ(個別対応)で

どのインフラ点検など、情報通信技術(ICT)とドローンを組み合わせるサービスを、ニューの開発を進め、注力する社会インフラ向けサービス事業を拡大する。

自主制御システム研究所はドローンの頭脳にあたる自律飛行制御ソフトウェアを独自開発している国内唯一のメーカー。用途に応じて柔軟に機体をカスタマイズ(個別対応)で

社会論

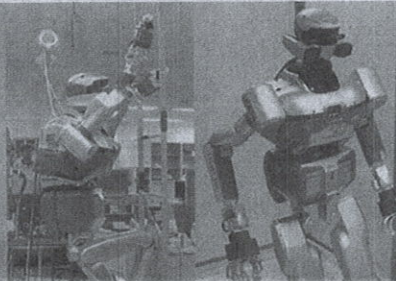
アキハバラニュース・エディター
リノ・J・ティブキー

連携を緊密化

同時に複数の手足を調和しなくてはならない。狭い空

共同プロジェクトに使う人型ロボット©Joint Robotics Laboratory (CNRS/AIST)/AIRBUS SAS 2015/CNRS-AIST

共同プロジェクトに使う人型ロボット©Joint Robotics Laboratory (CNRS/AIST)/AIRBUS SAS 2015/CNRS-AIST



アーム